

サンコール株式会社

～ 平成29年3月期 第2四半期決算報告 ～

ご注意

本日の説明および配布資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。
また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。

平成28年11月24日
代表取締役社長 山主千尋

サンコール株式会社 決算報告

1. 会社概要
2. 平成29年3月期 第2四半期決算要約
3. 平成29年3月期 業績見通し
4. 第2四半期トピックス

1. 会社概要

【会社概要】



京都本社

設立 : 1943年6月
 資本金 : 48億8百万円
 本社 : 京都市
 証券取引所 : 東証 1 部
 従業員数 : 連結2,375名
 単体561名

【海外拠点】6か国13拠点

国・地域		出資比率	生産品目
1	アメリカ	インディアナ州	弁ばね、リングギアほか
		サウスカロライナ州	光通信部品の販売拠点
3	メキシコ	アグアスカリエンテス州	弁ばね用材料、リングギア
		アグアスカリエンテス州	シートベルト用ぜんまいばね
5	中国	広州	弁ばね、リングギアほか
6		広州	弁ばね用材料の販売拠点
7		佛山	弁ばね用材料
8		天津	リングギア
9		深圳	プリンター用ローラー、光通信部品
10		香港	ほか
11	タイ	チョンブリ県	弁ばね、リングギア、 シートベルト用ぜんまいばね プリンター用ローラーほか
12	ベトナム	ハノイ	プリンター用ローラーほか
13	韓国	梁山	シートベルト用ぜんまいばね材料

【事業分野・主要製品】

自動車関連事業

精密機能材料



弁ばね用線



精密
异形線

精密機能部品



弁ばね



リングギア



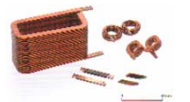
パルプコッター



异形リング



ぜんまいばね



リアクターコイル



モーターコア部品

電子情報通信事業

HDD部品



HDD
サスペンション

プリンター部品



ローラー



トルクリミッター
スプリングクラッチ

デジトロ部品



光コネクタ



光アダプタ



プローブ
ピン

2. 平成29年3月期 第2四半期決算要約 決算概要

(単位：百万円)	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期		
	実績	実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	18,385	18,564	+179	+1.0%
営業利益	1,194	1,167	△27	△2.2%
経常利益	1,298	450	△848	△65.3%
当期純利益	805	209	△596	△73.9%

一株当たり利益	25.39円	6.61円	△18.78円	---
平均為替レート 円/USD	121.80円	105.30円	△16.50円	---
円/EURO	135.07円	118.16円	△16.91円	

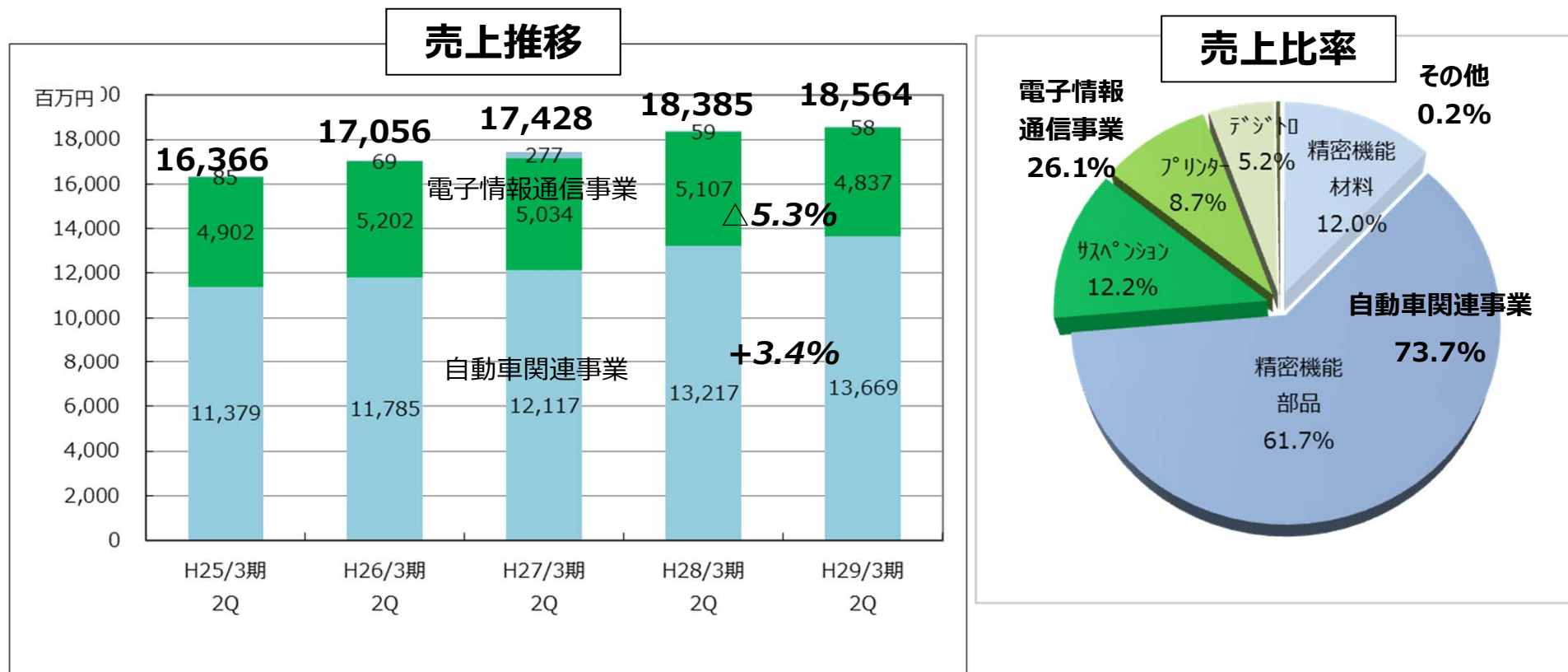
- ・ 売上/営業利益 : 自動車関連販売増、HDD用サスペンション需要の持ち直し、プリンター関連の販売減により前年比同水準
- ・ 経常利益 : 円高進行、海外子会社の現地通貨安により為替差損を計上し、前年比65.3%減少

2. 平成29年3月期 第2四半期決算要約 営業外損益

(単位：百万円)	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	
	実績	実績	前年同期比 増減額
受取配当金	63	57	△6
その他	80	85	+5
営業外収益合計	144	143	△1
持分法投資損失	—	▲39	△39
為替差損	▲25	▲789	△764
その他	▲15	▲31	△16
営業外費用合計	▲40	▲861	△821
営業外損益合計	104	▲718	△822

- 持分法投資損益：平成28年3月期第3四半期から連結した中国合併企業の連結取込
- 為替差損：円高進行による（期首112.69円→2Q末101.12）外貨債権評価替
海外子会社現地通貨安による評価替
（主にメキシコ 期首ペソ17.21/ドル→期末ペソ18.56/ドル）

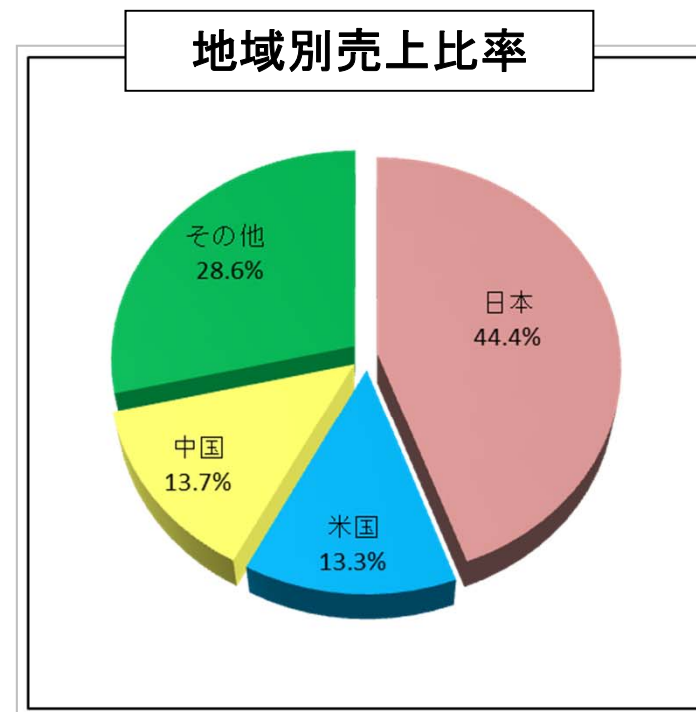
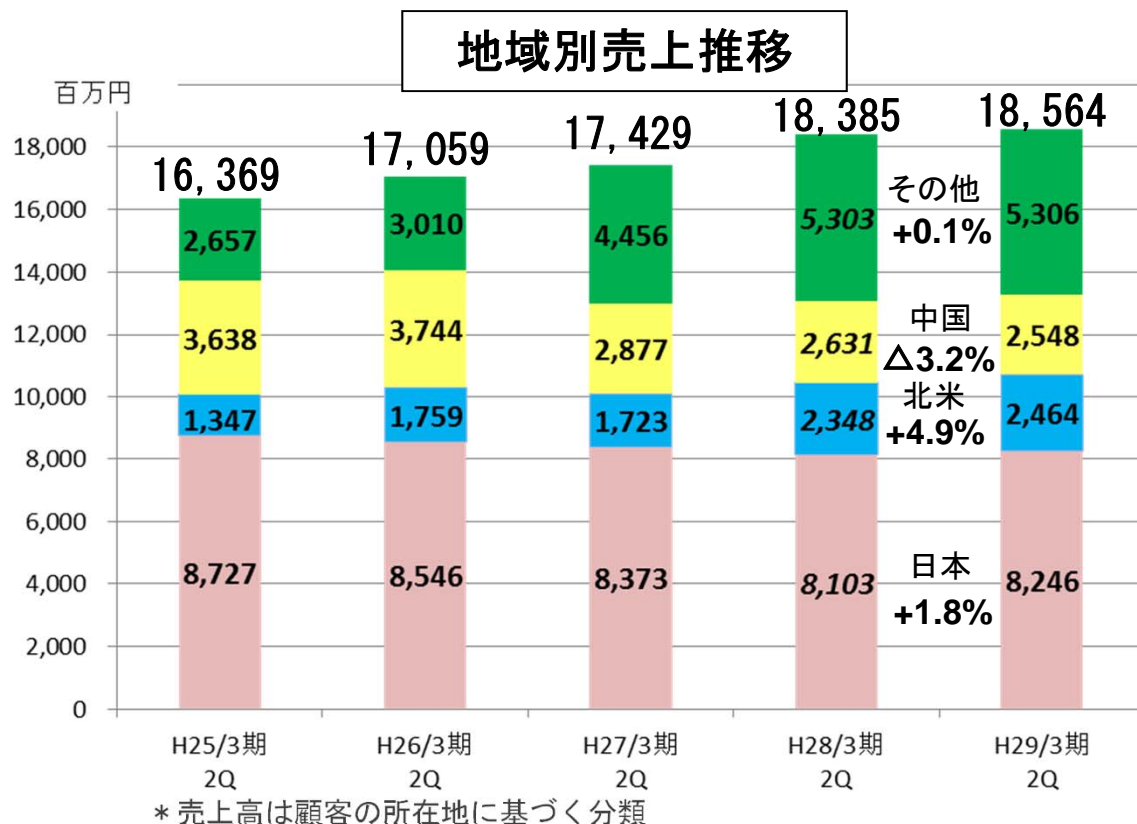
2. 平成29年3月期 第2四半期決算要約 事業別売上推移・比率



ー H29/3期第2四半期実績

- 自動車関連事業 : 米国、中国、タイでエンジン用部品の需要が増加し増収。
- 電子情報通信事業 : HDD用サスペンションの需要が回復、光通信部品の販売堅調なるもプリンター関連部品の販売が香港、ベトナムで落ち込み減収。

2. 平成29年3月期 第2四半期決算要約 地域別売上推移・比率



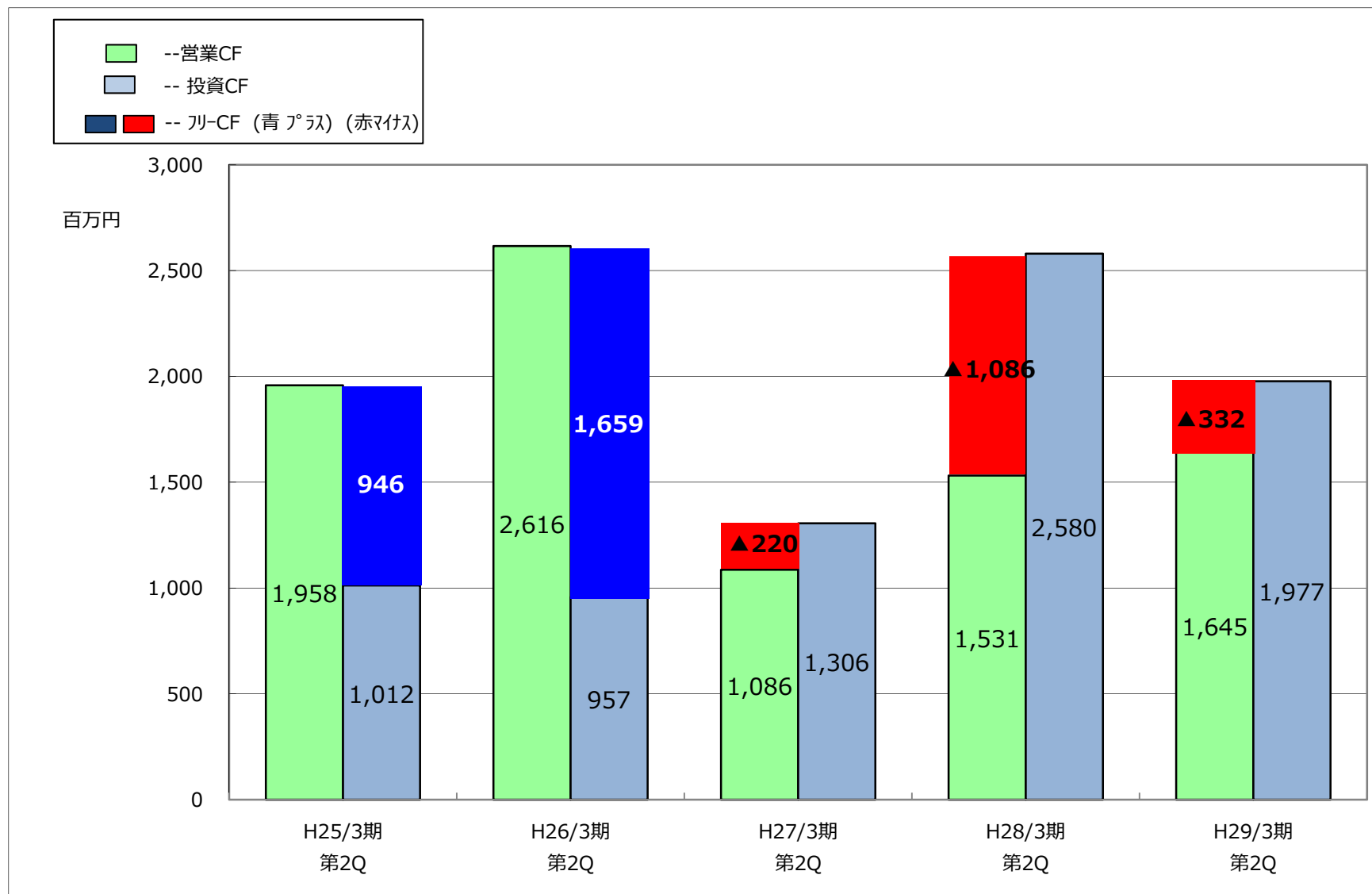
一 H29/3期第2四半期

- ・ 日本 : 自動車関連部品の販売堅調
- ・ 北米 : 自動車エンジン用部品の販売増、メキシコ子会社第2四半期から量産販売開始、光通信部品の需要増などにより増収
- ・ 中国 : HDD用サスペンションの顧客生産拠点移管による減収
- ・ その他 : 自動車関連部品の需要増、HDD用サスペンションの中国からの移管により増収
プリンター関連部品の販売減により全体で前年度同水準

2. 平成29年3月期 第2四半期決算要約 連結財政状態

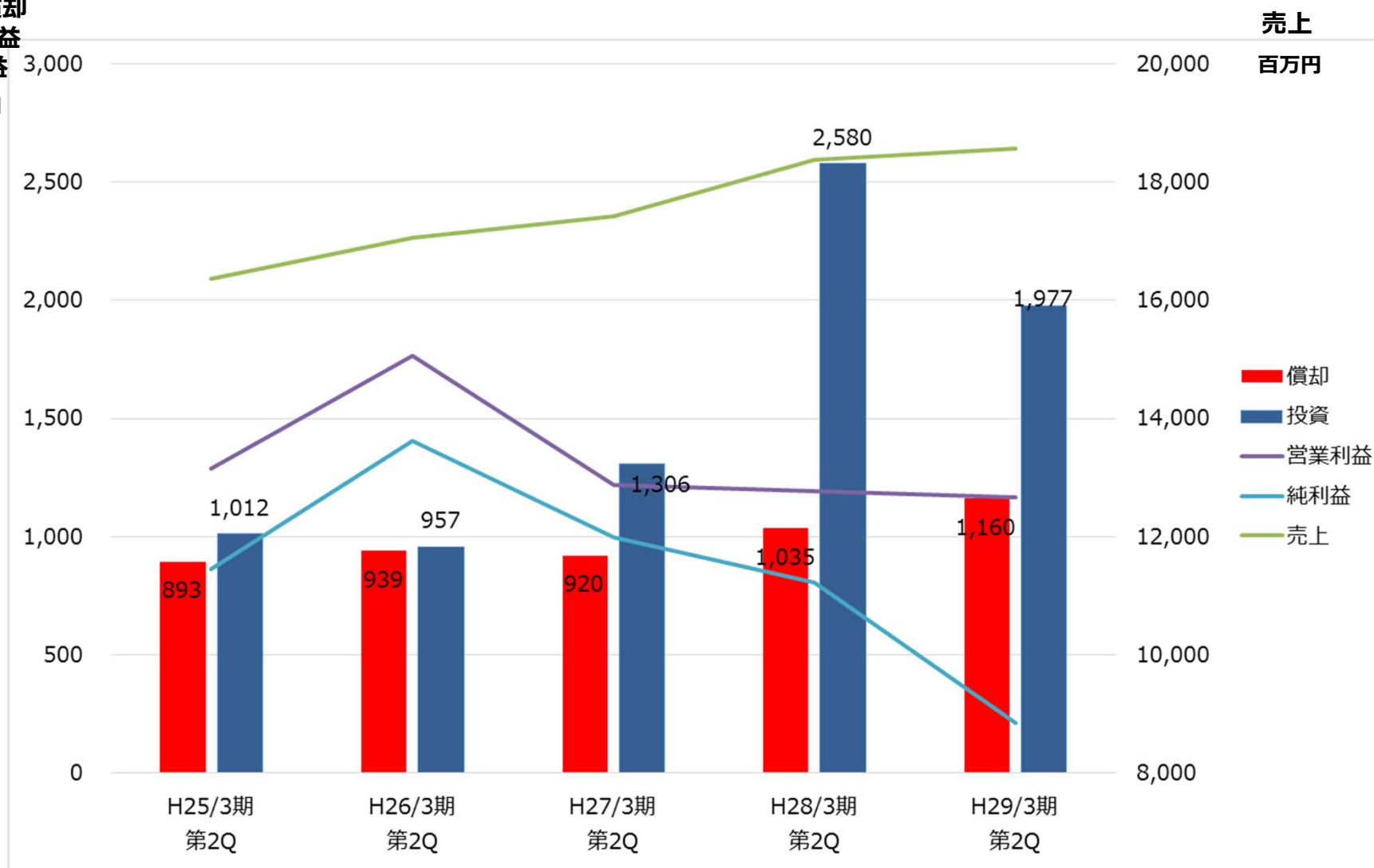
(単位:百万円)	平成28年3月末	平成28年9月末	増減
資産合計	43,048	41,903	△ 1,145
現預金	7,616	7,237	△ 379
売上債権	7,492	7,568	76
棚卸資産	4,936	4,476	△ 460
その他流動資産	901	940	39
固定資産	22,101	21,680	△ 421
負債合計	9,975	10,510	1,121
流動負債	7,749	7,721	△ 28
固定負債	2,225	2,789	564
(有利子負債)	551	1,136	585
純資産合計	33,073	31,393	△ 1,680

2. 平成29年3月期 第2四半期決算要約 フリーキャッシュフロー



2. 平成29年3月期 第2四半期決算要約 投資・償却金額

投資・償却
 営業利益
 純利益
 百万円



3. 平成29年3月期 業績見通し

【事業環境】

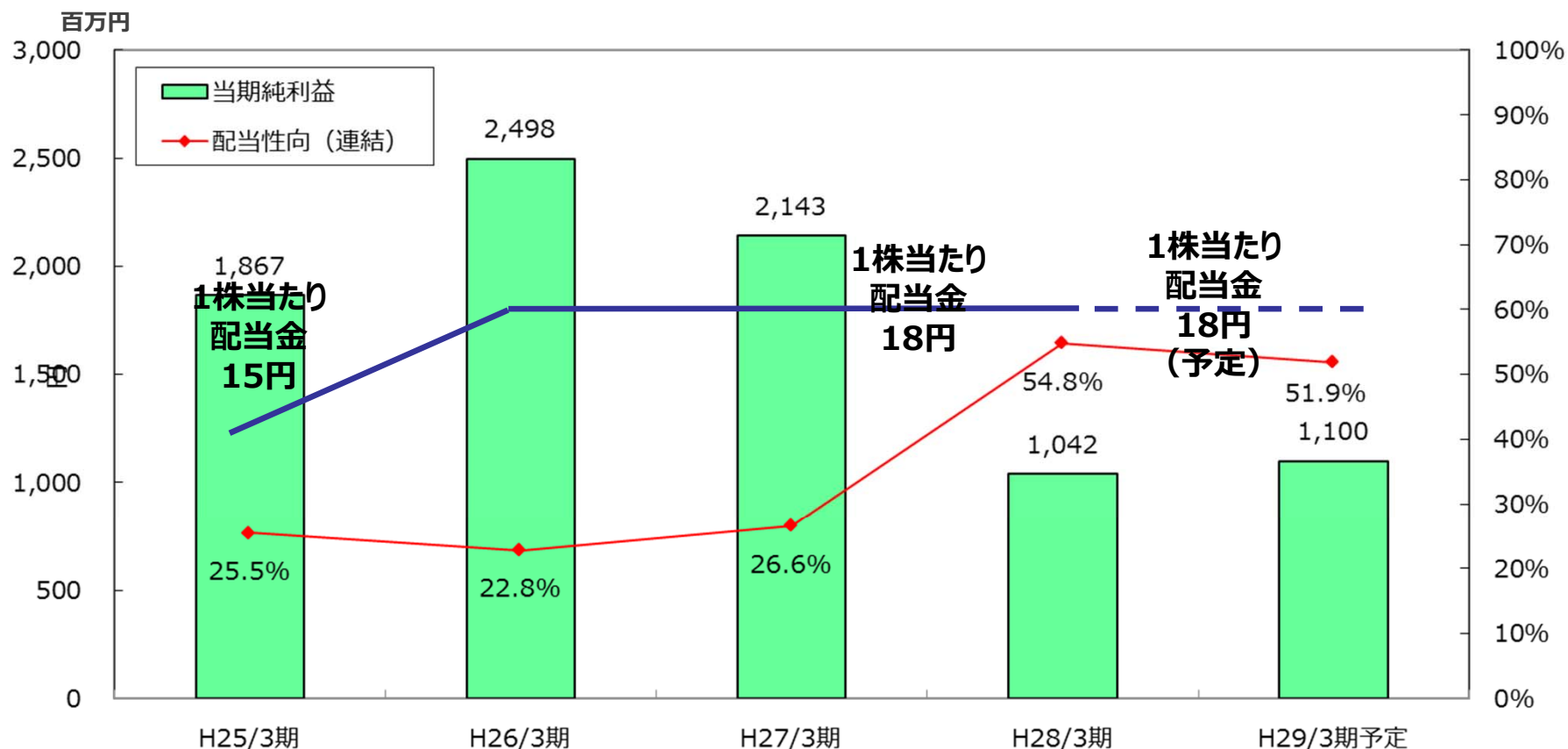
	計画	第2四半期期中平均	通期見通し	
- 為替レート	ドル = 107円	→ 105.30円	102~105円	} 変動懸念大
	ユーロ = 121円	→ 118.16円	112~118円	
- 需要動向				
・自動車関連事業	: 主要客先 国内生産計画は下期微減の傾向			
・HDD用サスペンション	: 第3/4四半期の需要変動 (要見極め)			
・プリンター関連事業	: 前年比減収で需要横ばい			

【通期見通し】

(単位：百万円)	平成29年3月期 第2四半期		平成29年3月期
	計画	実績	見通し (16年5月公示 据え置き)
売上高	18,400	18,564	39,000
営業利益	750	1,167	2,000
経常利益	450	450	1,700
当期純利益	250	209	1,100

現状では通期見通し据え置き。
 需要動向、北米納期対応、為替変動リスク（円、メキシコ・ペソ）を見極め、業績へ大きく影響する場合は公表予定。

3. 平成29年3月期 業績見通し 配当性向



配当政策 : 現行配当額1株18円の維持を下限目標

— 平成29年3月期 : 中間配当 8円 / 期末配当 10円
(予定) 合計 18円 / 配当性向 51.9%

4. 第2四半期トピックス — 中期経営方針 取組事例 —

中期経営方針 :

『企業価値向上』を目指し、コア事業の経営資源の効率化と成長分野への投資による事業の拡大発展を進める。

1) 自動車関連事業

既存事業の基盤強化と拡大

自動車用線材生産能力引き上げによるグローバル最適生産・供給体制の構築

2) 電子情報通信事業

経営資源の集中と開発力、営業力の強化によるシェアの維持・拡大

3) 新規事業

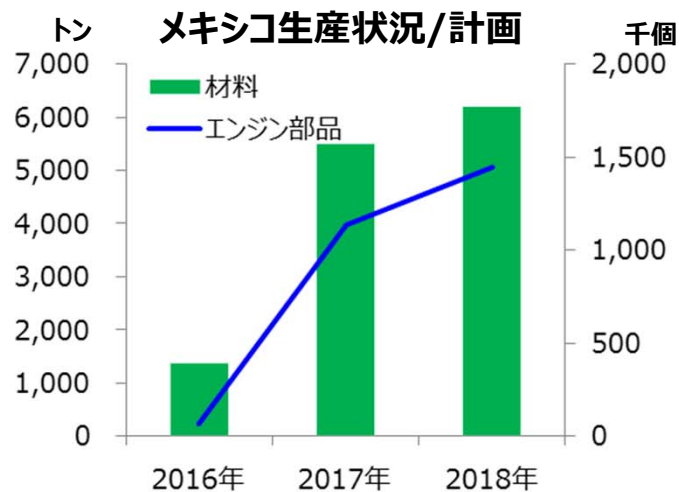
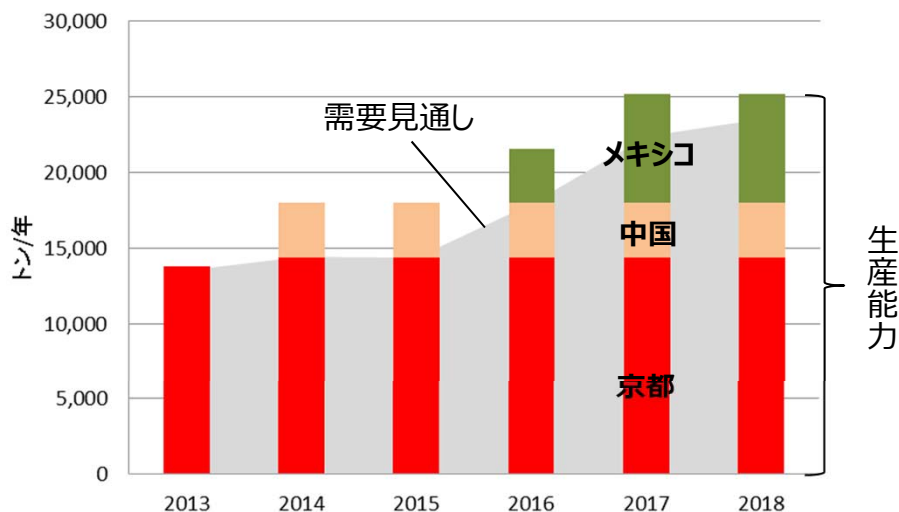
自動車電動化部品の開発、新素材の研究開発、医療・環境事業への参入

4. 第2四半期トピックス

中期経営方針 取組事例 / 材料供給能力拡大

基盤強化と拡大：自動車用線材生産能力引き上げ

- エンジン弁ばね用材料 グローバル生産体制の確立
- 生産能力と需要見通し



SUNCALL TECHNOLOGIES MEXICO,S.A.DE C.V.

設立	2013年9月
所在地	アグアスカリエンテス州 サンフランシスコ工業団地
敷地面積	40,000m ²
製品	自動車用弁ばね材、リングギア、 シートベルト用ぜんまい
従業員	106名



所在地



工場外観



生産設備



製品 (材料)

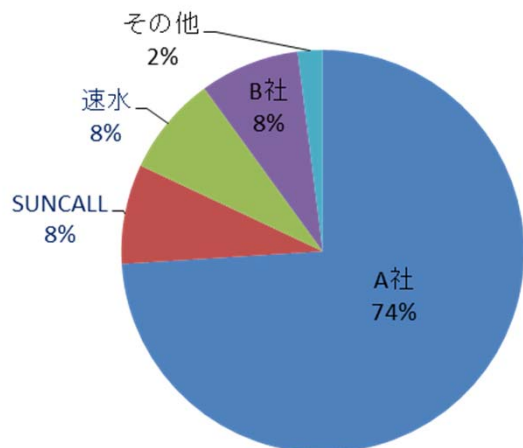
4. 第2四半期トピックス

中期経営方針 取組事例 / 材料供給能力拡大

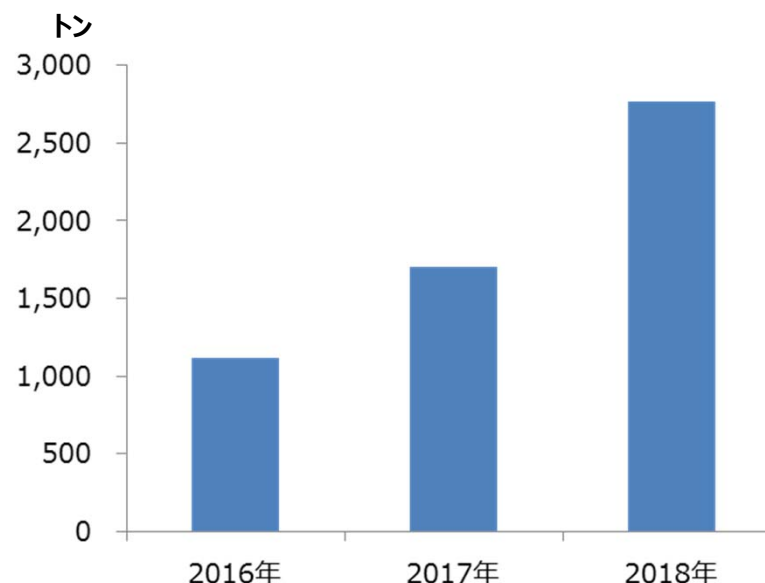
基盤強化と拡大：自動車用線材生産能力引き上げ

- シートベルト用ぜんまいばね

シートベルト用ぜんまいばねのシェア



- グローバル需要予測に基づく生産計画



- 製品



- 生産拠点 / 生產品目

生産拠点	生產品目	形態
韓国	材料	合弁
↓ 材料供給		
日本	加工品	子会社
中国	加工品	子会社
タイ	加工品	子会社
メキシコ	加工品	合弁

シートベルト用ぜんまいばねの需要増加と生産能力拡大により、シェア増を図る

- 材料：韓国（合弁会社）生産能力拡大を計画
- 製品：日本、中国、タイ、メキシコ（合弁）のグローバル生産体制をフル活用し、現地客先ニーズへ対応

4. 第2四半期トピックス

— 中期経営方針 取組事例 / 新規事業 —

既存事業／製品

自動車関連事業

基盤強化・拡大

精密機能材料



各種線材

エンジン・ミッション系



エンジン系部品
弁ばね/ドライブプレート

ミッション系部品
ダンパースプリング
リングギア

安全部品



安全装置
ぜんまいばね

電子情報通信事業

経営資源集中 開発・営業力強化

サスペンション



ハードディスクドライブ用
サスペンション

プリンター関連



送紙ローラー
トルクリミッター
クラッチばね

デジロ精密部品



光通信用コネクタ/アダプター
テストプローブ・ピン
複写機用トナー搬送スクリュー

新規事業／製品

電動化部品 EV/HV/PHV/FCV



KOA社共同開発

シャント・オン・バスバー
(大電流センサー)



バスリング

医療・介護

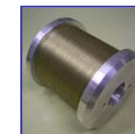


歩行用リハビリ支援システム
装着型運動支援装置

環境・エネルギー



炭素材開発
量産化装置、
炭素材利用製品



固定砥粒ワイヤ
ワイヤメント・ワイヤ

4. 第2四半期トピックス

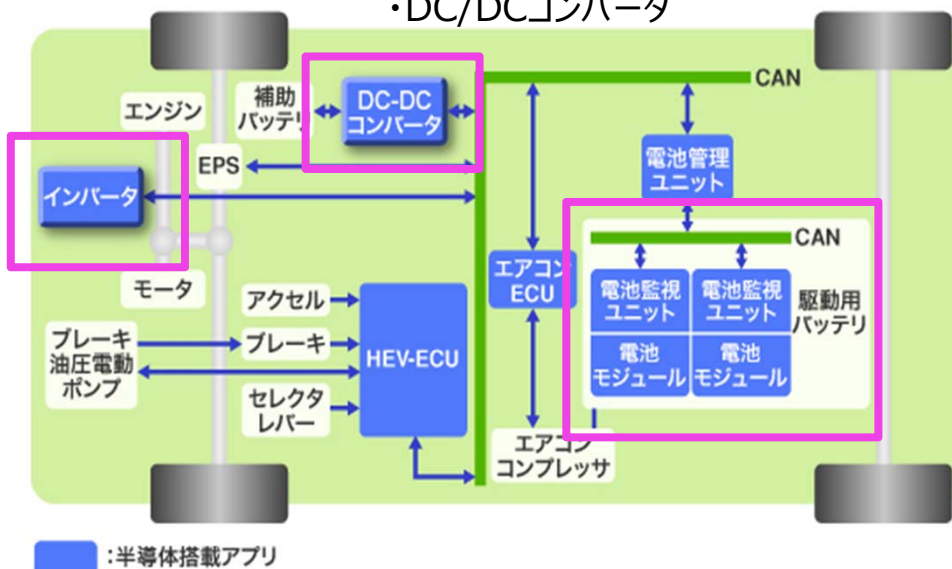
— 中期経営方針 取組事例 / 新規事業 —

成長分野への参入：自動車電動化部品開発

EV・HEV・PHEV・FCV 全世界市場予測 (万台)

年度	2015	2020	2025
全体	9,000	11,000	13,500
HEV他	180	1,100	2,700
比率	2.0%	10.0%	20.0%
成長率	—	611.1%	245.5%

- 車載・使用部位
 - ・バッテリーパック
 - ・インバータ
 - ・DC/DCコンバータ

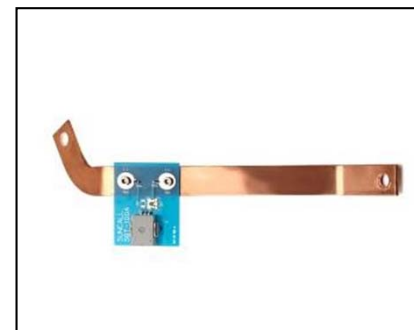


- 既存製品：バスバー



バッテリーユニット電源供給ラインなどで使用されるターミナルバスバー

- 開発製品：シャントオンバスバー



KOA株式会社との共同開発

バスバー、電流検出センサー一体型製品
バッテリーパック、インバーターなどに搭載

4. 第2四半期トピックス

— 中期経営方針 取組事例 / 新規事業 —

成長分野への参入：医療・介護機器

歩行用リハビリ支援システムKAI-R



人口膝関節置換手術後の歩行リハビリ
に使用
患者の早期回復、歩行矯正を目的とする

- 共同開発企業：
フィンガルリンク(株) / サンコール(株) / 大日本印刷
開発コンサルタント
エムアイテック(株)
販売コンサルタント
フィンガルリンク(株)

装着型運動支援装置（仮称）



脳卒中後の片麻痺患者の歩行リハビリ
に使用
患者自身の力を主体とした歩行訓練を
基本に患者の歩容を矯正し、理想的な
歩行に導く

- 共同開発機関
京都大学 人間健康科学系
京都工芸繊維大学 機械システム工学
共同開発企業
サンコール / 大日本印刷 / 川村義肢 /
船井電機 他

HOSPEX JAPAN 2016

大日本印刷と共同へ出展

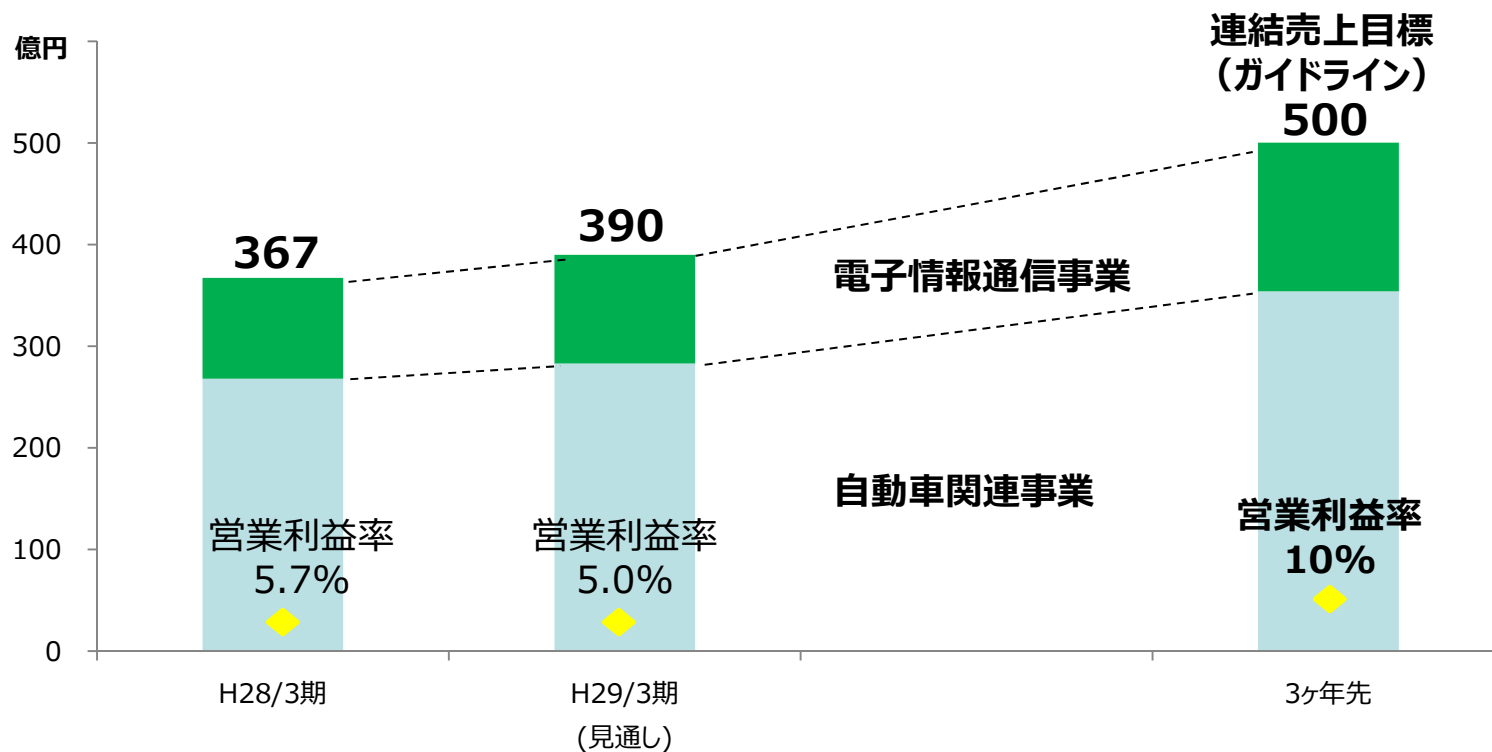


2016年10月26日～28日
東京ビックサイトにて開催
3日間で約500名超の来訪者

— 事業化計画

	2018年度目標
歩行リハビリ支援システムKAI-R	製品化
装着型運動支援装置（仮称）	社会実装 （実証実験）

— 中期経営方針 定量イメージ —



- 定量イメージ** : 連結売上500億円 / 営業利益率 10%
 投資金額 3ヶ年累計 120億円
- 配当金 (中期計画期間/2018年までの目標)** :
 株主帰属当期純利益に対する配当性向
 25億円までの部分 25%
 25億円を超える部分 35%
 現行配当額1株18円の維持を下限目標とする

Fine Precision, Nano Solution

